

平成 29 年度第 1 回
平戸市総合戦略推進委員会
議 事 録

と き：平成 29 年 9 月 20 日（水）13：30～15：50
ところ：平戸市役所 3 階会議室

開催日時	平成 29 年 9 月 20 日 (水) 13:30~15:50
開催場所	平戸市役所 3階会議室
出席委員 (50音順、敬称略)	赤木径子、飯田善勝、佐藤武郎、田上和利、竹田健介、田中範子 綱辰幸、豊増見喜雄、西村拓也、町田和正、松山芳弘、馬渡勇一 吉田昭一郎 (13名)
欠席委員 (50音順、敬称略)	寺田孝弘、吉福弘実
事務局 (財務部企画財政課)	吉住龍三部長、小出圭治課長、藤山修一班長、山口寿典主査
事業担当課長	地域協働課：峯野課長、観光課：藤田課長、商工物産課：村田課長 農林課：川内課長、水産課：下川課長、都市計画課：村井課長 建設課：大浦課長、文化交流課：植野係長、学校教育課：入口理事 教育総務課：平松課長 生涯学習課：松本班長、福祉課：度嶋課長 消防本部：林次長
次第	(事務局)
1. 開会	
2. 委嘱状交付 (50音順、敬称略)	変更委員への委嘱状交付 佐藤武郎、田上和利、綱辰幸
3. 副市長 あいさつ	町田副市長
4. 推進委員会会 長選任について	委員の互選により、会長に綱辰幸委員を選任。
5. 議題 (1)「平戸市総合 戦略」中間進捗 に係るアンケート 結果の報告に ついて 委員	(事務局説明) ●質疑・意見等 問15・問16の項目、「高齢者が暮らし続けるための環境の良さ」について、アンケート回答者が20~59歳で、質問は高齢者感覚のように思え

	<p>るが、質問と回答者の整合性はあると思うか。</p>
事務局	<p>回答者世代が考える内容として、質問を行っている。</p>
委員	<p>問 14 の「住み続けたい」で5%程度、下がっているようだが、その理由及び原因等について分析は行っているのか。また、問 15 では「子ども育てる環境」「医療環境」「災害や犯罪の少ない環境」が重要として、高い数値になっているが、この項目に対しての施策はあるのか。</p>
事務局	<p>「住み続けたい」の結果については前回アンケート対象者と異なり、また、10%以上の大きな差も無いので、現状維持という認識でいる。最終年度後にもアンケートを予定しており、それまでに実施している施策の効果、成果を上げて、結果に繋げていきたいと考えている。</p> <p>重要度の高い項目については、重点として念頭に置き、満足度を上げて行くため、対応する各事業に取り組んでいるところである。</p>
委員	<p>今回のアンケートの回収率は他市町村と比べてどうなのか。</p>
事務局	<p>平均が3割のなか、今回は23%と低い回答率で、他のアンケートでも2割台が多く、全体的に回答率が低い傾向にあるので、今後、工夫しながら回答を増やしていきたいと考えている。</p>
委員	<p>今回のアンケート対象で農林水産業の職業の方が少ないように感じた。無作為なので仕方がないが、その職業の方の意見が取り入れられていないよう思った。</p>
委員	<p>アンケートについては、コストもかかっており、集めた情報は貴重な市民の意見なので、施策に十分に活用してほしい。</p>

<p>平成 27 年度事業 の実施状況等につ いて</p>	<p>【基本目標 1 雇 用の促進】</p> <p>(事務局説明)</p> <p>● 質疑・意見等</p>
<p>【基本目標 1 雇 用の促進】</p>	
<p>委 員</p>	<p>数値目標、KPI で H27 基準値とあるが、これはどういうものか。</p>
<p>事務局</p>	<p>平成 27 年度に策定した総合戦略の基準の数値となるものです。</p>
<p>委 員</p>	<p>2 ページの KPI 欄で立地企業等の新たな就業者数とあるが、これはどう いう内容か。</p>
<p>担当課長</p>	<p>中小企業等設備促進事業補助金を活用した市内事業所の雇用人数と、新 たに平戸市で起業し雇用された人数で、設備投資による雇用人数が 16 人で、起業による雇用人数が 23 人の合計 39 人が平成 28 年度の実績と なっています。また、平成 27 年度が 43 人であったので、合計の 82 人 となっています。</p>
<p>委 員</p>	<p>新卒でなければ、他を辞めて就労したとなれば、トータルで人数が増え ていないのではと疑問が残るが、どう考えられているのか。</p>
<p>担当課長</p>	<p>どこかを辞めて、起業したとか、設備投資による就業等についてのそれ ぞれの詳細な情報は掴んでいない。</p>
<p>委 員</p>	<p>創業支援による 23 人はどのような内訳なのか。</p>
<p>担当課長</p>	<p>ものづくり創業支援事業補助金による就労者が 10 人で商工会や商工会 議所の支援による就労者が 13 人です。</p>
<p>委 員</p>	<p>36 ページの今後の方針欄は、今後、どのような事業展開を考えている のか。</p>

事務局	<p>総合戦略の期間が 31 年度までなので、その間における方針と位置づけ ている。32 年度以降については進捗等を踏まえ、総合計画等に繋がっ ていくことも考えられる。</p>
<p>【基本目標 2 産 業の振興】</p>	<p>【基本目標 2 産業の振興】 (事務局説明) ● 質疑・意見等</p>
委員	<p>平戸市として、重点的に取り組んでいるのは何か。また、産業について は何に力を入れているのか。</p>
事務局	<p>高齢化による、後継者不足は産業の衰退に繋がりがねないので、後継者 対策等の人材育成には重点的に取り組みを行っている。また、今後も継 続して支援等を行っていくこととしている。</p> <p>産業については、本市の基幹産業は 1 次産業と観光業なので、今後も推 進していきたいと考えている。特に観光業は魅力的な観光地にしていく ことが大事だと思っている。また、企業誘致については現在、工業団地 を整備しており、そこを中心に進めていきたいと考えている。そのなか で誘致する企業については、例えば平戸の産業と連携できるような仕組 みを考えていかなければならないと思っている。</p>
委員	<p>工業団地整備による企業誘致を中心にしていくのか、それとも地場産業 を軸とした支援等のどちらを優先していこうと考えているのか。</p>
事務局	<p>どちらか一方だけの考えはなく、併用していくように考えている。また 現在、県の振興財団に職員を派遣しており、全国的な企業誘致を展開し ている。誘致を進めるなかで地場産業の活用を視野に入れながら、ま た、働く人を確保できるような環境整備など、総合的なところで企業誘 致を進めていきたいと考えている。</p>

委員	<p>平戸市は第1次産業と観光業がメインであるが、労働生産性が低いので生産性を上げて、賃金を高めるような工夫が必要。その一方で製造業については生産性が高いので製造業の企業誘致は行った方が良い。</p> <p>総合的に第1産業、観光業、製造業で雇用の場を補完するような体制が望ましいと考える。</p>
委員	<p>物産関係については、国内首都圏を中心にやっていくように見えるが、特に東南アジア方面の海外展開についてはどのように考えているのか。</p> <p>また、平戸市は台湾の台南市と交流協定を結んでいることで物産やスポーツ、文化の交流が盛んでもある、このような関係性を踏まえて、市として今後、どのような海外展開を総合戦略の計画等に盛り込むように考えているのか。</p>
担当課長	<p>平成28年度は東アジアを目指した海外輸出を調査する検証事業を行ったところ、海外への輸出は多くの課題が判明し、十分な研究や対策が必要と判断した。平成29年度は現在のブランド化推進事業の中で海外輸出事業を引き続き行うようにしているが、将来を見据え、また、中身を見極めるなど研究を重ねて海外展開を図りたいと考えている。</p>
【基本目標3 子育て支援】	<p>【基本目標3 子育て支援】 (事務局説明)</p> <p>● 質疑・意見等</p>
委員	<p>保育料軽減事業は大変ありがたいが、滞納はあるのか。ある場合は滞納分の補填はどのようにしているのか。また、児童の福祉医療給付事業の事務改善で平成29年4月から現物給付を実施したとあるが、これはどういう内容か教えてほしい。</p>
担当課長	<p>保育料の収納については、90パーセント後半と高い収納率となっている。そのなかで滞納がある者については、児童手当等の手当支給月にお願いくるなどして、対策を講じている。</p>

	<p>また、現物給付とはこれまで病院代については病院に全額を支払いし、後日、福祉課へ申請手続きをすることで支払った病院代が戻ってくるようにしていたものを、福祉課への手続きを省略し、支給される金額と支払う金額を差し引きして、病院の窓口で病院代を支払うことができるようにしている。</p>
<p>委員</p>	<p>放課後児童クラブについて、今後、平戸中南部地区への設置について検討していくとあるが、その他の地区への設置予定はあるのか。度島地区や大島地区での設置予定はないのか。</p>
<p>担当課長</p>	<p>現在、平戸北部、田平、生月で実施している。今後、平戸南部地区の小学校2校が閉校になることから、対象の保護者にアンケートを実施し、その結果に基づいて、放課後児童クラブの設置を検討していきたいと考えている。</p> <p>その他の地区は平成27年3月に平戸市子ども子育て支援事業計画を策定しており、その計画を策定する際に度島地区、大島地区においてアンケートを実施している。度島地区については、当時は設置の希望は無かったため、計画では設置の予定には入れていない。大島地区では数名が希望する程度の結果で、ニーズが低いこともあって、今のところ設置の予定には入っていない。</p>
<p>委員</p>	<p>放課後児童クラブ設置については、その時代によって状況が変わるので設置要望の調査等は継続してほしい。</p>
<p>委員</p>	<p>大島地区では数名のみ希望であったため、設置予定は無いということだが、数名の要望に対しても、対応をお願いしたい。</p>
<p>担当課長</p>	<p>平成29年10月から、ファミリーサポート事業を行うようにしている。これは、幼児や児童の子育て等の援助を受けたい人と援助をしたい人とを結びつける事業で、運営を社会福祉協議会に委託しており、少ない人数等にも幅広く対応できる体制を整備したので、本事業の活用をお願い</p>

<p>【基本目標4 定住・移住の促進】</p>	<p>いしたい。</p> <p>【基本目標4 定住・移住の促進】 (事務局説明)</p> <p>●質疑・意見等</p> <p>委員 ウ) 魅力あるまちづくりの方策の概要で食育を市民運動として推進していきます。と掲載しているが、関連する事業が無いようなので、「食育」につながる何らかの、事業の取組みをお願いしたい。</p> <p>事務局 実際、食育の事業は実施しているが、この中に掲載する内容に伴っていない事などもあるので、担当課と内容について協議したいと思う。</p> <p>委員 コミュニティ推進事業において、まちづくり協議会が市内各地で設立されているなかに、度島地区は最初に設立し、各種事業に取り組んでいる。しかし、役員になる者は限られており、協議会に携わることの負担が増えてきている現状がある。この点について、市役所はどのような考えを持っているのか。</p> <p>担当課長 度島地区は最初にモデル地区として設立し、徐々に市内各地でまちづくり協議会が発足している。まちづくり協議会も年数が経過するにつれて、事業の精度が熟されることで、携わる人や時間が必要となり負担が増加していることについては理解している。そのため、担当課では、今年度から担当を2人から4人にし、各地区を2人で担当し、充実した支援をできるような業務体制を整えた。地域に全てを丸投げするのではなく、一緒に協力して各事業に取り組んでいきたいと考えている。</p> <p>委員 平戸市は高齢化率が30パーセントを越える高い数値となっている。高齢者は生活における身の回りの作業が大変になり、生活に支障を来す実態がある。今後はもっと高齢化率が高くなり、生活に支障を来す高齢者が増えてくることが予想される。</p>
-------------------------	--

	<p>本日、日経新聞の記事で鹿児島市の例だが、高齢者の身の回りの世話をワンコインでサービスを提供している記事があった。平戸市でもこのようなサービスを行ってみてはどうかと思い報告させてもらった。</p>
<p>担当課長</p>	<p>平戸市でも同様の事業を平成 25 年度から始めており、当時は 1 サービス、500 円で行っていた。平成 28 年度からは金額を下げ、100 円に対応している。事業はシルバー人材に委託し、実績は平成 25 年度が 25 件、平成 26 年度が 215 件、平成 27 年度が 679 件、平成 28 年度が 1452 件と高い利用実績があっている。</p>
<p>委員</p>	<p>まちづくり協議会では地域おこし協力隊が大きな力となって活躍している。期限が 3 年ということで、期限後は自身で起業するなど生計を立てていかなければならないようだが、すぐに起業等は難しいと思う。せっかく、協議会設立の基礎に尽力してもらっているので、なにかしら協議会の雇用に繋がるような後押しをしてほしいと思っている。</p>
<p>担当課長</p>	<p>地域おこし協力隊の期限は過ぎるが、継続してまちづくり協議会で集落支援員として残ってもらうことはできる。本人の残る意思があれば、集落支援員として対応したいと考えている。</p>
<p>(3) 地方創生加速化交付金事業の実施状況等について</p>	<p>【地方創生加速化交付金事業】 (事務局説明) ● 質疑・意見等 委員からの質疑・意見なし。</p>
<p>(4) その他 事務局</p>	<p>(江迎公共職業安定所からの資料を基に有効求人等について説明)</p>
<p>委員</p>	<p>ハローワーク江迎では月 2 回、出張相談を行っている。10 月からは平戸文化センターを会場としている。内容については履歴書の書き方や仕事の相談、面接の仕方などを行い、毎月 2 回目については実際に企業を</p>

	<p>呼んで、就職面談等を実施しているので、市民に広く周知をお願いしたい。</p>
<p>委員</p>	<p>人口減少を食い止めるため、様々な事業を行っているようだが、定住支援、創業支援をまとめ、ワンストップにより、都市部への売り込みを行ってはどうかと思う。平戸への魅力や関心は高く、また、ポテンシャルもあるので、各業界と連携しながら事業を実施してみては思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>推進委員会について2回開催を予定している。次回開催は平成30年3月で考えているため。その際は協力をお願いします。</p>
<p>6. 閉会</p>	<p>会議終了</p>